



化学

2021年度新規採用職員インタビュー

「福島環境回復・創造を広く正しく発信！」

所属

環境創造センター

総務企画部 企画課

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 現在私は東日本大震災及び原子力災害からの環境回復・創造を使命とした環境創造センターの企画課員として、イベントの企画運営や、広報活動を担当しています。

イベントを実際に行う中で、県民の方々の反応や表情を間近で見られること、そして、福島環境回復・創造という復興の一端を担っているということが私にとっての仕事のやりがいです。

Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていること

A. 私は宮城県出身で、福島県にはこれまで関わりがありませんでしたが、県外出身者であるからこそその視点で、福島の復興に新たな切り口で携わりたいと考えています。

また、現在の所属では、たくさんの尊敬できる先輩方に囲まれ、支えられて仕事できています。私も将来は、今後入庁して来る皆さんに頼りにしてもらえそうな素敵な県職員になることを目標としています。



↑ イベントブース出店の様子



INTERVIEW

福島で、実現する。

あなたが実現したいことは、なんですか？

Q. 県職員を志望した理由を教えてください。

A. 私は学生時代に、NPO 法人での中学生を対象とした学習支援のボランティア活動や科学イベントの企画運営に携わってきました。そのような中、福島県の環境創造センターや東日本大震災・原子力災害伝承館の設立及び取組に関心を持ち、私の経験が生かせるのではないかと思います、県職員を志望しました。



↑ コミュニティサイエンスアカデミアでの様子

Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「根っからのイベント」「アレンジ気質」「1 ターン満喫中」「仕事もプライベートも全力で」

Q. 「根っからのイベント」について教えてください。

A. 私は大学院時代に女性の理系進学を促進するための団体に所属し、科学イベントや高校生向け進路説明会などを企画運営していました。現在の仕事でも、小中学生向けのサイエンスクラブ、中学校での出張講座といったイベントを担当し、過去の経験を活かしている場面が多々あります。



↑ 中学校での出張講座の様子

Q. 職場の雰囲気はどのような感じですか？

A. 職場の雰囲気は常に和気あいあいと感じています。常に課内の仕事は共有し、お互いにサポートしあっているような印象です。そのような雰囲気の中で、尊敬できる先輩職員の方々に囲まれ、日々成長を実感しながら楽しく仕事ができています。